

本県の観光産業におけるデジタル化に関する調査

群馬経済研究所研究員 稲田純也

調査のポイント

観光産業にデジタル化が求められる理由や取組状況を明らかにするとともに、県内観光地のデジタル化の取組事例をまとめ、観光産業におけるデジタル化の推進に向けたポイントを考察した。

要約

- 観光産業にデジタル化が求められる理由は、①かねてより低水準である生産性を向上させるため、②コロナ禍で生まれた新しい生活様式に対応するため、である。
- 各種のデータより、観光産業におけるデジタル化は他産業と比べて進んでいないことが分かる。こうした状況下で、行政による様々なデジタル化の推進施策が講じられている。
- 県内観光地のデジタル化の取組事例として、①伊香保温泉の「デジタル化による新たな魅力づくり・魅力発信」(デジタルスタンプラリーやSNSマーケティング)、②草津温泉の「デジタル化による観光客の利便性向上・国内外へのマーケティング」(観光PR動画の配信、多言語AIチャットボットの導入、キャッシュレス決済の拡大)、が挙げられる。
- 観光産業におけるデジタル化の推進に向けたポイントは、①目標の明確化、②積極的な情報収集、③小さな成功体験の積み重ね、である。